可能性を求めて

武蔵野東幼稚園から小学校へ

北原キヨ

たいまつ社

可能性を求めて

武蔵野東幼稚園から小学校へ

北原キヨ

たいまつ社

著者紹介

北原キヨ

大正14年　栃木県日光市生れ。
日光市清滝小学校，東京・立川第二小学校勤務，
明治大学法学部卒業。

昭和39年　武蔵野東幼稚園を創立。同園長。

昭和52年4月　武蔵野東小学校創立。同校長に就任。武蔵野東教育研究所・所長。

著書に『自閉児のための生活療法』―武蔵野東幼稚園の実践記録第1巻（武蔵野東教育研究所編著・たいまつ社・昭和51年6月）なお，同実践記録第2巻『幼児教育』は昭和52年夏刊行の予定。

現住所　〒180　東京都武蔵野市緑町2―1―10
武蔵野東小学校内
TEL 0422―54―8611（代表）

可能性を求めて――武蔵野東幼稚園から小学校へ

昭和52年4月16日　初版第1刷発行　定価 1,000円

著　者©　北原キヨ
発行者　大野　進
発行所　たいまつ社
東京都新宿区百人町 1―23―14
電話(371) 1590 振替・東京4―24362
印刷所　株式会社厚徳社

＜落丁・乱丁本はおとりかえいたします＞

可能性を求めて

——武蔵野東幼稚園から小学校へ——

北原キヨ

本書の刊行によせて

元・文部大臣　奥野誠亮

昭和五二年の春四月、武蔵野東小学校の開校を迎えて、念願の幼小一貫教育への理想に第一歩を印されることとなり、理事長、園長はじめ先生方、ご両親の喜びと感慨はひとしおのこととお察しいたします。

子どもたちの将来の幸せを希求し、若い教師集団の燃えるような情熱と努力を結集し、園の創立以来一貫して日夜苦闘されつづけた園長の誠心が、天に通じたのだと申しあげるほかはありません。

このたび、武蔵野東小学校の開校を記念して、北原園長の『可能性を求めて』が上梓されることを聞き及び、先に刊行された同園の実践記録第一巻『自閉児のための生活療法』が、非常な好評裡に自閉児をもつ家族の皆さん、現場の先生方に役立っていることとを合

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.

わせて、二重に喜んでおります。

本書は、不屈の信念と具体的な実践を身上とする北原園長が、その青春期に最年少の女教師として教壇に立って以来、今日武蔵野の地に小学校を建設するに至るまでの足跡を、はじめて明らかにしたものと伺います。

またこの夏には、昨年の第一巻につづいて同園の実践記録第二巻『幼児教育』を刊行される由。研究と実践の成果を惜しみなく国民の共有財産として公表されるその姿勢に敬意を表せざるをえません。

この『可能性を求めて』もまた、新たに開校される小学校の文部省研究指定校としての役割り、あるいは混合教育に対する社会的要請など、その貴重な教育事業への理解を深める一助となることを信じて疑いません。

多くの方がたにお読みいただけるようお薦め申しあげ、お祝いのことばといたします。

〈序にかえて〉

学年末恒例の発表会も終り、園の子どもたちは一段とめざましい成長を見せてくれました。どの子の表情も、この一年間の指導で大きなふしが出来、逞しくなったようです。

昭和五二年春、いよいよ武蔵野東小学校の開校です。この開校を、子どもたちは、大人の私たち以上に、全身でカチッと受けとめているようです。卒園を迎える健康な子どもたちが、期待と希望に胸をふくらませているのはむろんのことですが、自閉の障害をもつ子どもたちのそれは、さらに切実なのです。常同行動がなかなか抜けなかったA君、会話が不明瞭でよく聞きとれないB君、整列の時にいつも列からはみ出してしまったC君……でも本人たちは、小学校に入学するまでにはどうしても治したい、よくなりたいという心中の誓いをもって努力していることが、ありありと見てとれます。

先生方も、カリキュラムの編成、年間の指導計画その他もろもろの準備に、毎日夜の更

けるまで、熱気のこもった研修や話し合いを重ねております。小学校の先生方の六割は、すでに小学校教諭の資格をもって幼稚園に勤務していた先生方があたり、四割の先生が新しく着任してきます。新しい先生も、三月から幼稚園で実習に励んでいます。

可能性を信ずる、という私の哲学は、いいかえますと、若い人の可能性を信じ育てることの喜びなのですが、やがてこの喜びが、新しく生まれる武蔵野東小学校の中に豊かな指導力を実らせながら、満ち溢れることでありましょう。

ご家庭でも、制服やランドセル、学用品などを揃えて、お子さん共ども期待に胸を脹らませていらっしゃることと思います。普通の例ですと、学校が建ちました、これこれの教育をしますからお入りくださいということで始まることでしょう。しかし武蔵野東小学校は、その教育理念と創立の経過において、独特の個性をもつ学校であることを、ご理解いただきたいと思います。

それは、武蔵野東幼稚園創立以来の理念、生活療法を基底とした混合教育、生活保育の実践を、本心に心から信じてご支援くださる多くの父母、関係者の方がたの熱意とご尽力、さらに、子どもたち一人ひとりの成長を願う教師たちとが、一丸となって苦しみ求めつづ

けた道程があってこそ、生まれ得た学校なのです。長い苦闘の道すじにありましても、だれ一人仲間割れすることなく、なかにはこの運動のため体をこわしたお母様もありますが、さらにその後を受け継いで別のお母様が頑張るなど、もちろん普通児のお母様がたも共に呼吸と手足をそろえて力を尽し、新しい教育の場を求めたのでした。

こうした私どもの努力をごらんになったある高官の方が、

「あなた達の運動は、素人の情熱で、これまでの日本国に初めてという大きな仕事、予想もつかない奇跡を生みあげましたね、真心の勝利です。感動しました」と言われました。

教育に対する信念と、子どもたちの幸せを願う父母と教師たちの、必死の努力あってこそやり通せたのだと、私自身、いま改めてしみじみとした感謝と感動につつまれております。

完成間近い小学校に、折々に来園されるお客様をご案内し、あるいはまた先生方と見に行くのですが、広々としたホール、体育館、屋上温水プール等、雄大なものです。精一杯に学んでそして身体造りで気力を発散する。お客様は、さすがに教育理念が設備の隅々にまで滲みこんでいると感嘆してくれます。そして最後に一言、

「子どもたちは幸せですね。このように贅沢な設備の中で勉強できるとは、羨ましいかぎりです」

仰言る通り、私はいま、素直に嬉しさを噛みしめています。これまで、学籍にも入れてもらえずに苦労したこの子たちが、はじめて「児童」として認知されるのですから。

教育は、五〇年、百年、さらに長期の歴史をかけた永遠の事業です。その教育から排除されてきた子どもたちに対するせめてもの贈りものとして、この新しい学校がつくられたことは当然のことと申せましょう。贅沢でも豊かな環境は、子どもの生活の場なのです。学習で疲れたからだを、プールに飛びこんで解きほぐす。考えるだけでも子どもたちの喜ぶ顔が見えるようです。

この学園で、健康な子どもも自閉の子どもも、共に人間として自分の個性をしっかりと開花させて生きる小学校基礎教育を、本当にがっちりと築きあげたいものです。そして、ここから生まれ育つ子どもたちを含めて、この初心が、いつまでも、のびのびと、大地に根を張り、大空にひろがり、繁栄していくようにと心から願っております。

幼稚園の園務と小学校の開校準備に励むかたわら、このような形で私自身の歩みをふり

かえってみました。

武蔵野東小学校の開校を記念する意味で本書をまとめたのですが、私のささやかな教育歴三〇年の間にも、たくさんの苦しみと喜びがございます。そうしたことどもが、今はすべて懐かしい思い出となっております。同時に今日の私の緊張と喜びの証しは、これまでにお寄せいただいた園内外の皆様、社会各層の皆様のご支援とご厚情を忘れることなく、賜わったご温情の数々を教育の場に生かし、子どもたちの未来の幸せのために専心し、徹し抜くことをもってお応えしてまいるのみでございます。

新しい出発を前にして。

昭和五二年三月三日

北原キヨ

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.

可能性を求めて／目　次

本書の刊行によせて……奥野誠亮　2
〈序にかえて〉……4
I　私のあゆみ――可能性を求めて……13
1　教師としての出発……14
一六歳のスタート
戦中・戦後の教育
私の幼児体験

2 幼稚園の創立……47
上京して
幼稚園への転進
開園準備
理念と精神
誕生前後
3 混合教育へのとりくみ……71
障害児との出会いと私の姿勢
生活療法・生活保育の組みたて
「生活療法」への誤解
〝教育事業〟が追求するもの
4 小学校設立へ……90
せつなる願いと運動が実る
武蔵野東小学校がめざすもの

教育課程の特色
混合教育の姿と本質
教師集団――若い力
武蔵野東学園への展望

Ⅱ 混合教育――私の理念と実践……123
1 武蔵野東幼稚園の混合教育……124
2 障害児と共に生きて……162

Ⅲ 武蔵野東幼稚園の歩み……181

おわりに……198

装幀・井上 宏

I

私のあゆみ

1　教師としての出発

一六歳のスタート

きのうまで生徒として通っていた小学校で、きょうから先生として教えはじめた――そんな感じでスタートしたのが私の教師人生です。それは昭和一六年、太平洋戦争の勃発した年でした。栃木県上都賀郡日光第二尋常高等小学校（現在の日光市立清滝小学校）がそこです。華厳の滝の支流になる大谷川のほとりにありました。私の教師としてのすべては、この小学校で得たものだといってもいいでしょう。私は「自然の理念」「自然のスタイル」などとよく口にします。事実、武蔵野東幼稚園では、このことばをスローガンとしてこれ

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.